



# 津幡城



忠魂碑の建つ城跡西隅の物見台跡



津幡城趾案内



津幡城趾碑

津幡町長 久世嘉典書

明治4年作成の地籍図をもとに復元すると、主郭は物見台跡の北側平坦地と考えられ、その南に3つの曲輪、東・北・西の三方に腰曲輪が取り巻いていた。東に隣接する通称「ゲンジ山（源氏山）」との間に北向きの大手口があったようだ。寿永2年（1183）に平維盛指揮下の平家軍が布陣したと伝わる。天正4年（1576）には、上杉謙信が加賀に侵入し津幡に布陣した。

天正11年（1583）、前田利家は金沢入城に際して弟の秀継を城主とし、加越国境の境目の城として築城が進んだと考えられる。翌12年、佐々成政に攻められた末森城を救援するため、津幡城で軍議を開く。同13年には佐々方の後退にあわせ、秀継は木舟城に移り役割を終えた津幡城は廃城となつた。



主郭推定地



物見台跡から南方、旧津幡宿、金沢城下町を望む



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ  
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）  
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9  
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943  
E-MAIL. contact@j-sampo.com  
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>